平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月7日

上場会社名　浜松ホトニクス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6965　URL　http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 晝馬　明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 嶋津　忠彦　TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日　配当支払開始予定日　平成24年6月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	50,726	△1.6	9,760	△12.1	10,180	△12.0	6,113	△11.9
23年9月期第2四半期	51,545	18.4	11,105	66.2	11,572	68.8	6,938	42.1

(注)包括利益　24年9月期第2四半期　6,824百万円　(△2.3%)　23年9月期第2四半期　6,984百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	76.05	—
23年9月期第2四半期	86.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	191,535	138,485	72.0
23年9月期	188,091	133,434	70.5

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　137,911百万円　23年9月期　132,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	22.00	—	22.00	44.00
24年9月期	—	23.00			
24年9月期(予想)			—	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,400	△0.5	17,700	△18.9	18,100	△18.5	10,900	△20.5	135.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	83,764,984 株	23年9月期	83,764,984 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	3,370,025 株	23年9月期	3,370,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	80,394,959 株	23年9月期2Q	80,395,093 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資は、震災復興関連の需要等の影響もあり、緩やかな増加傾向が見られるものの、欧州の債務危機や長期化する円高に加え、原油価格の上昇など、景気の下振れリスクを抱えた先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、長年培った独自の光技術を用いた研究開発を推進し、顧客ニーズに応えた製品開発を展開する一方で、積極的な営業活動及び経費の削減に努めることで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第２四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は50,726百万円と前年同期に比べ818百万円（1.6％）の減少となりました。また、利益面につきましても、営業利益は9,760百万円と前年同期に比べ1,344百万円（12.1％）の減少、経常利益は10,180百万円と前年同期に比べ1,391百万円（12.0％）の減少、四半期純利益は6,113百万円と前年同期に比べ824百万円（11.9％）の減少となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔電子管事業〕

光電子増倍管は、ＰＥＴ・ＳＰＥＣＴなどの核医学検査装置向けの売上げが、顧客の在庫調整等の影響を受けて減少したほか、血液分析などの検体検査装置向けの売上げも減少いたしました。しかしながら、計測分野における油田探査装置や放射線計測装置向けの売上げが堅調に推移いたしました。また、イメージ機器及び光源は、Ｘ線非破壊検査装置用のマイクロフォーカスＸ線源をはじめとして、産業分野向けの売上げが減少いたしましたが、Ｘ線画像を可視像に変換するＸ線シンチレータの売上げが堅調に推移し、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジンの売上げが増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は21,939百万円（前年同期比1.1％増）、営業利益は8,363百万円（前年同期比1.4％減）となりました。

〔光半導体事業〕

光半導体素子は、歯科用Ｘ線診断装置向けのフラットパネルセンサが、その安定した品質を評価されて売上げを伸ばしました。しかし、主力のシリコンフォトダイオードが、顧客の在庫調整の影響を受け売上げが減少するとともに、産業分野向けのイメージセンサの売上げも減少いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は21,156百万円（前年同期比1.9％減）、営業利益は7,358百万円（前年同期比4.5％減）となりました。

〔画像計測機器事業〕

画像処理・計測装置は、Ｘ線ラインセンサカメラが、食品検査用を中心に堅調に推移しました。しかしながら、デジタルカメラが、大口顧客における生産調整の影響を受け、売上げが大幅に減少するとともに、米国における病理デジタルスライドスキャナの売上げが低迷いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は6,027百万円（前年同期比12.5％減）、営業利益は501百万円（前年同期比60.0％減）となりました。

〔その他事業〕

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント（その他）の売上高は1,603百万円（前年同期比15.7％増）、営業損失は148百万円（前年同期は営業損失276百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産の主な変動は、有価証券が1,500百万円減少したものの、現金及び預金が2,421百万円、受取手形及び売掛金が1,162百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ2,695百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が520百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ748百万円増加しております。

この結果、当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,444百万円増加し、191,535百万円となりました。

流動負債の主な変動は、未払金（流動負債のその他）が増加したものの、支払手形及び買掛金が1,107百万円及び未払法人税等が938百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,308百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、退職給付引当金が326百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ298百万円減少しております。

この結果、当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,606百万円減少し、53,050百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が4,342百万円及び為替換算調整勘定が821百万円それぞれ増加したことなどから、当第２四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ5,051百万円増加し、138,485百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,942百万円増加し、34,988百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は6,917百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などによるものであり、前年同期に得られた資金9,736百万円に比べ2,818百万円の収入減となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は3,527百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得などによるものであり、前年同期に使用した資金3,740百万円に比べ212百万円の支出減となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は1,814百万円となりました。これは主として、配当金の支払などによるものであり、前年同期に使用した資金1,625百万円に比べ188百万円の支出増となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年９月期通期の連結業績予想につきましては、出口の見えない欧州の債務危機をはじめとした世界経済の下振れ懸念や日本のエネルギー情勢など、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況になるものと予想しており、平成23年11月７日付けで公表いたしました業績予想を、次のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、１米ドル＝78.38円、１ユーロ＝104.22円を想定しております。

通期連結業績予想（平成23年10月１日～平成24年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	107,700	22,200	22,400	14,700	182.85
今回修正予想（B）	101,400	17,700	18,100	10,900	135.58
増減額（B－A）	△6,300	△4,500	△4,300	△3,800	―
増減率（%）	△5.8	△20.3	△19.2	△25.9	―

通期個別業績予想（平成23年10月１日～平成24年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	96,400	18,500	20,200	13,600	168.88
今回修正予想（B）	88,900	14,500	16,100	9,800	121.69
増減額（B－A）	△7,500	△4,000	△4,100	△3,800	―
増減率（%）	△7.8	△21.6	△20.3	△27.9	―

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,073	73,495
受取手形及び売掛金	23,781	24,944
有価証券	1,500	－
商品及び製品	6,014	6,174
仕掛品	11,183	11,456
原材料及び貯蔵品	5,147	5,269
その他	4,986	5,022
貸倒引当金	△145	△123
流動資産合計	123,542	126,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,008	22,979
機械装置及び運搬具（純額）	8,009	8,491
工具、器具及び備品（純額）	2,610	2,861
土地	15,565	15,281
リース資産（純額）	275	277
建設仮勘定	1,777	2,877
有形固定資産合計	52,247	52,768
無形固定資産	1,581	1,691
投資その他の資産		
投資有価証券	2,052	2,165
繰延税金資産	7,130	7,131
その他	1,554	1,559
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	10,719	10,837
固定資産合計	64,549	65,297
資産合計	188,091	191,535
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,454	12,347
短期借入金	865	990
1年内返済予定の長期借入金	281	274
未払法人税等	4,698	3,760
賞与引当金	3,398	2,876
その他	8,999	10,140
流動負債合計	31,698	30,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年９月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
固定負債		
長期借入金	7,326	7,236
退職給付引当金	13,929	13,602
役員退職慰労引当金	1,245	1,334
その他	457	486
固定負債合計	22,958	22,660
負債合計	54,657	53,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	74,902	79,244
自己株式	△6,048	△6,048
株主資本合計	138,455	142,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	240
為替換算調整勘定	△5,948	△5,126
その他の包括利益累計額合計	△5,785	△4,886
少数株主持分	764	573
純資産合計	133,434	138,485
負債純資産合計	188,091	191,535

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	51,545	50,726
売上原価	25,549	24,947
売上総利益	25,995	25,779
販売費及び一般管理費	14,890	16,018
営業利益	11,105	9,760
営業外収益		
受取利息	63	63
投資不動産賃貸料	77	170
為替差益	207	57
持分法による投資利益	48	54
その他	196	195
営業外収益合計	594	540
営業外費用		
支払利息	57	55
不動産賃貸費用	53	44
その他	16	20
営業外費用合計	127	120
経常利益	11,572	10,180
特別利益		
固定資産売却益	4	9
補助金収入	156	625
貸倒引当金戻入額	4	－
特別利益合計	165	634
特別損失		
固定資産売却損	8	1
固定資産除却損	82	22
固定資産圧縮損	141	616
減損損失	－	424
投資有価証券評価損	259	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	99	－
特別損失合計	591	1,065
税金等調整前四半期純利益	11,146	9,749
法人税等	4,179	3,820
少数株主損益調整前四半期純利益	6,967	5,928
少数株主利益又は少数株主損失（△）	29	△184
四半期純利益	6,938	6,113

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,967	5,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162	77
為替換算調整勘定	△118	830
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△12
その他の包括利益合計	17	895
四半期包括利益	6,984	6,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,975	7,012
少数株主に係る四半期包括利益	9	△188

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,146	9,749
減価償却費	3,827	3,977
賞与引当金の増減額（△は減少）	△297	△528
受取利息及び受取配当金	△79	△81
支払利息	57	55
持分法による投資損益（△は益）	△48	△54
売上債権の増減額（△は増加）	△1,331	△646
たな卸資産の増減額（△は増加）	937	△142
仕入債務の増減額（△は減少）	△81	△1,694
その他	1,134	1,103
小計	15,265	11,738
利息及び配当金の受取額	79	80
利息の支払額	△57	△55
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△5,550	△4,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,736	6,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△8,822	△480
有価証券の取得による支出	△8,500	－
有価証券の売却による収入	17,000	1,500
有形固定資産の取得による支出	△3,249	△4,267
その他	△168	△280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,740	△3,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△975	124
長期借入れによる収入	1,213	－
長期借入金の返済による支出	△53	△96
配当金の支払額	△1,772	△1,775
その他	△37	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,625	△1,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	368
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,299	1,942
現金及び現金同等物の期首残高	28,747	33,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,047	34,988

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成23年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,708	21,562	6,887	50,159	1,385	51,545	―	51,545
セグメント間の内部売上高又は振替高	745	436	60	1,243	188	1,431	△1,431	―
計	22,454	21,999	6,948	51,402	1,573	52,976	△1,431	51,545
セグメント利益又は損失（△）	8,480	7,704	1,253	17,438	△276	17,161	△6,056	11,105

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△6,056百万円には、セグメント間取引消去△544百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,511百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,939	21,156	6,027	49,123	1,603	50,726	―	50,726
セグメント間の内部売上高又は振替高	602	324	31	959	98	1,057	△1,057	―
計	22,542	21,481	6,058	50,082	1,701	51,783	△1,057	50,726
セグメント利益又は損失（△）	8,363	7,358	501	16,224	△148	16,075	△6,315	9,760

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△6,315百万円には、セグメント間取引消去△303百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,011百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「その他」の区分に含まれるホテル事業において、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては424百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。